

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋 賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
(渋川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878



親の餌を待っているモモンガの子供。

合成生物学は
ここまで来た。

フクロロウオスズ



2022/02/26



進化の壁をこえた
生物をつくる未来が
やってくる。

合成生物学で
何が出来るのか
たしみてある

生物がもつ機能やしくみを研究者自身で設計し、つくらすことをめざす「合成生物学」という学問分野が近年注目を浴びている。合成生物学は、もて生命のしくみの解明や新しい医療、新しい物質生産が実現できると期待されている。その一方で、バイオテロにも転用できる可能性のある遺伝子組み換え技術の無縁ではない。

アサギ子



Panasonic

